

療育支援専門部会 報告資料

本年度開催 第1回 平成28年6月24日

第2回 平成29年1月18日

平成28年度療育支援専門部会活動概要

1 主な審議事項

(1) 千葉県障害児等療育支援事業について

- ・当該事業の事業者数の増加に伴い事業費が増加傾向にあることから、予算規模に見合った事業を実施するため、障害児等療育支援事業の実態調査を行いその結果を報告するとともに来年度の利用回数等について見直しを図った。

(2) 小児等在宅医療連携拠点事業（29年度）について

- 以下の事業について報告するとともに意見をいただいた。
- ・NICU等に入院している障害児の在宅生活の円滑な移行を支援するため、退院支援及び退院後の訪問看護に関する研修を実施する。
- ・訪問看護ステーションの看護師等を対象とし、医療的ケア児への訪問看護の基礎研修及びフィジカルアセスメント研修を実施する。

(3) 医療的ケアを要する児童等への相談支援の手引きについて

- ・NICU看護師による訪問看護の実施等の状況変化に対応するため、医療的ケアのある子どもの計画相談に係る現行のガイドラインを改定して手引きとすることについて協議を行った。

2 主な報告事項

(1) ライフサポートファイルの活用状況について

- ・障害のある子どもが、ライフステージにおいて一貫した支援が継続されるための情報伝達ツールとして、本人に関する様々な情報や支援記録等を一冊にまとめたファイルの導入、活用を促進している。
- ・現在、導入済み市町村は39（昨年度35）、今後導入を検討中の市町村は8（昨年度6）となっており、拡大が図られている。

(2) 児童福祉法の改正について（平成28年6月）

- ・医療的ケアを要する障害児が支援を円滑に受けることができるよう、地方公共団体は保健、医療、福祉等の連携促進に努めるものとされた。
- ・障害児のサービスに係る提供体制の計画的な構築を推進するため、自治体において障害児福祉計画を策定するものとされた。